

イスラーム学の基礎(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

(1) 期末試験またはレポート

(2) 出席状況

(1)(2)の具体的な配分比率など成績評価に関わることは初回の講義で詳しく説明するので、履修を考えている学生は必ず初回の講義に出席してください。

昨年までの同名講義科目と同じ評価方法が今年度の講義でも適用されるとは限りません。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

小杉泰 『イスラームとは何か——その宗教・社会・文化』(講談社現代新書、1994年)

東長靖 『イスラームのとりえ方』(山川出版社、1996年)

小杉泰・江川ひかり編 『イスラーム——社会生活・思想・歴史』(新曜社、2006年)

小杉泰・長岡慎介 『イスラーム銀行——金融と国際経済』(山川出版社、2010年)

小杉泰 『イスラーム帝国のジハード』(講談社、2006年)

板垣雄三監修 『イスラーム世界がよくわかるQ&A100』(亜紀書房、1998年)

大塚和夫他編 『岩波イスラーム辞典』(岩波書店、2002年)

その他の文献は適宜授業中に紹介します。

(関連URL)

<http://nagaoka.world.coocan.jp/>(担当教員のウェブサイト)

<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/>(大学院アジア・アフリカ地域研究研究科のウェブサイト)

<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/global/about/islam/>(同研究科グローバル地域専攻イスラーム世界論講座)

<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/admissions/application>(大学院アジア・アフリカ地域研究研究科入試情報)

<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/kias/>(京都大学イスラーム地域研究センターのウェブサイト)

[授業外学修(予習・復習)等]

イスラーム世界の情勢は日々変化しています。常にニュース・新聞等をチェックして、最新の情勢を把握し、伝えられる報道の妥当性についても自分の頭で考え咀嚼することに努めてください。

[その他(オフィスアワー等)]

(1) 講義で使用する資料、講義に関する情報は、下記の担当教員のウェブサイトにて公開します。公開の方法、パスワードなど具体的なことは第1回目の講義で説明します。

<http://nagaoka.world.coocan.jp/>

(2) この講義は、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科グローバル地域研究専攻イスラーム世界論講座によって提供されている科目で、毎年開講予定です。

(3) 本講義の上級科目として、「イスラーム思想入門」(前期金曜2限)、「イスラーム経済論」(前期火曜4限)が全学共通科目で開講されています。併せて受講することを推奨します。